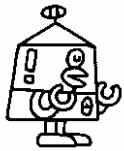


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
植物の発芽と成長 / 理解シート

トウモロコシには、なぜふた葉が出ないの



植物は、^{はつが}発芽のとき、ふた葉が出るものと出ないものがあり、トウモロコシは出ないなかまに入る植物なんだよ。

ふた葉が出ないなかま（^{たんしやうしょくぶつ}単子葉植物）

いろいろな種類のたねをまいて、発芽のようすを観察してみましょう。

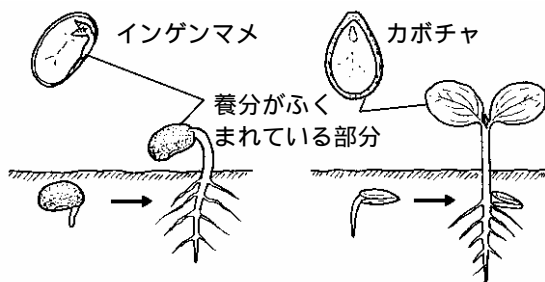
アブラナ、ダイコン、インゲンマメ、ヘチマ、カボチャなど多くの植物は、まず^{あつ}厚いふた葉が出て、やがて、ふつうの葉が出てきて大きく成長していきます。このような植物のなかまを、^{そうしやうしょくぶつ}双子葉植物といいます。

発芽のとき、ふた葉は出ないで、かわりに1まいの細長い葉が出てくるのが、トウモロコシ、イネ、麦、エノコログサなど、葉がすうっと細長い植物です。これらは、単子葉植物とよばれています。

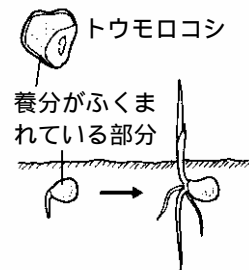
ふた葉が出るものと出ないものでは、たねのつくりがちがう

発芽のとき、ふた葉が出るなかまのたねを切ってみると、マメは、根、葉、くきになる部分と、養分がふくまれている部分が見分けられ、養分のふくまれた部分がふた葉になります。カボチャのたねも、ふた葉に養分がふくまれています。

トウモロコシのたねは、養分をふくんだ部分は土の中に残り、細長い葉が地上に出ます。養分をふくんだ部分が、葉にならないのです。



ふた葉が出るなかま



ふた葉が出ない